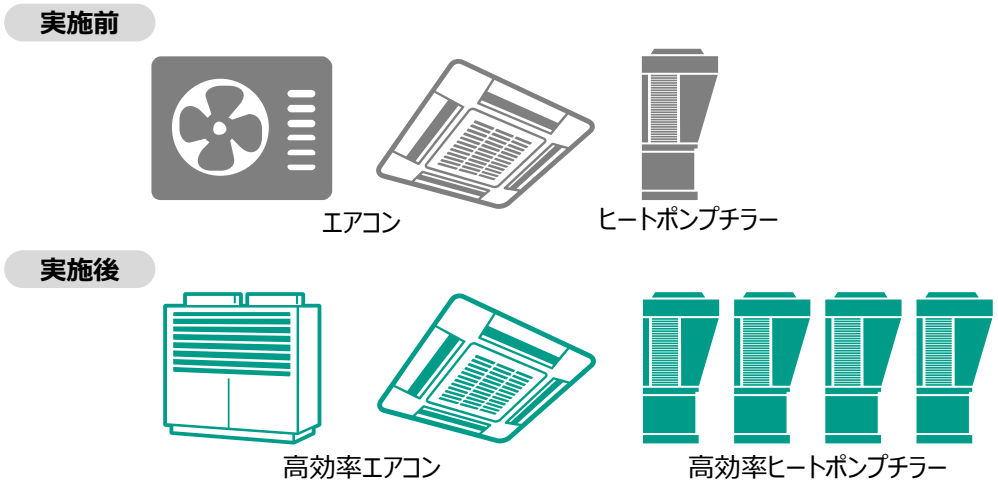
4.1 工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業〈設備更新補助事業〉

⑨商業ビルへの省エネ設備導入による快適性向上と誘致効果

事業概要

事業者概要	事業者名	ー
	業種	不動産業
事業所	所在地	大阪府
	総延床面積	2,659m^2
補助金額	補助金額	約3,138万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	エアコン、ヒートポンプチラー
	導入設備	高効率エアコン、高効率ヒートポンプチラー
事業期間	稼働日	2024年1月
区分		更新
特長		新たな設備を導入したことで、室内温度の調整がよりスムーズになり、季節や天候に関係なく快適な環境が提供され、テナントの満足度が向上した。さらに、最新の省エネ設備を導入したことで、環境への配慮をアピールでき、テナント誘致活動において重要なPRポイントとなり、顧客の関心を引きやすくなった。

システム図



写真

高効率エアコン



高効率ヒートポンプチラー



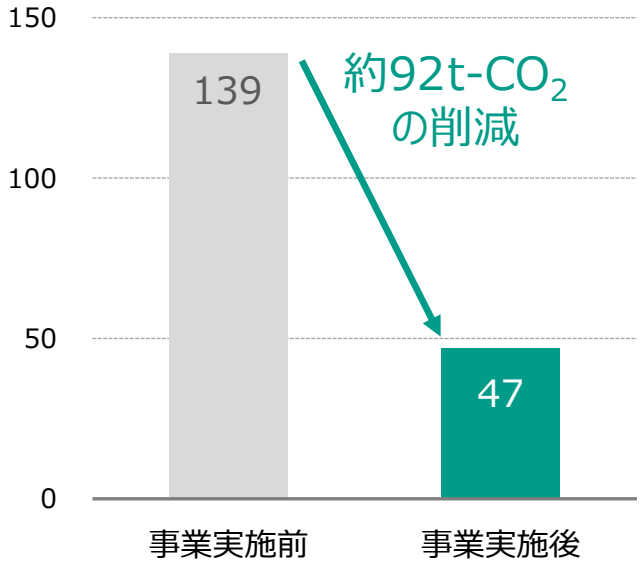
⑨商業ビルへの省エネ設備導入による快適性向上と誘致効果

事業の効果

エネルギーコスト削減額		約498万円／年
投資回収年数	補助あり	約13年
	補助なし	約18年

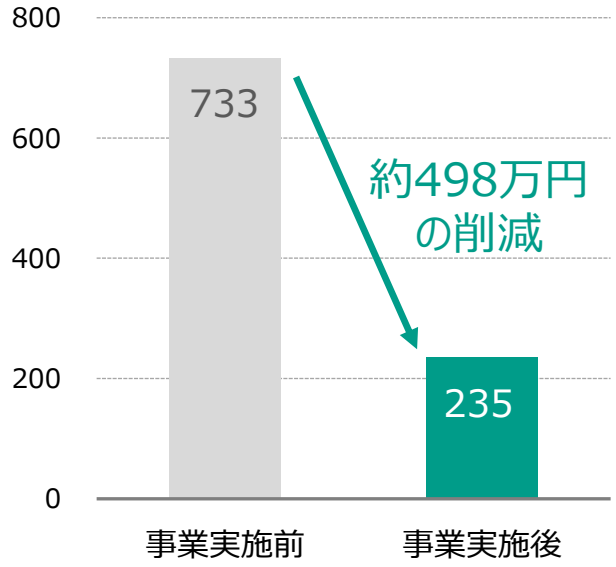
CO_2削減量	約92t-CO_2／年
CO_2削減コスト	25,300円／t-CO_2

CO_2排出量（t-CO_2／年）



テナントが土日も営業していたことにより、当初の想定より設備稼働率は高かったが、高効率設備の導入により年間CO_2排出量92トンの削減に成功した。

エネルギーコスト（万円／年）



テナントが土日も営業していたことにより、当初の想定より設備稼働率は高かったが、高効率設備の導入により年間でエネルギーコスト498万円を削減できた。

【脚注】
※ ここに示す事業の効果は、都市ガス：120,680円／千Nm^3（出典：資源エネルギーHP）、電力単価：21.7円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

⑨商業ビルへの省エネ設備導入による快適性向上と誘致効果

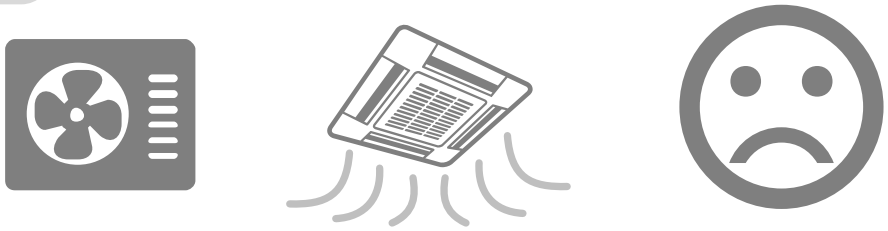
事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ **「高効率エアコン、高効率ヒートポンプチラーの導入」によって、CO_2削減以外に、以下のような副次的効果があった。**

- 従来の設備よりもエネルギー効率が高いため、室内の温度調整がスムーズになり、季節や天候に左右されることなく、快適な室内環境を提供できるようになった。
- 最新の省エネ設備を導入したことで、テナント誘致活動において、環境への配慮や持続可能性をアピールできるようになった。

快適性向上

実施前 設備老朽化のため、室内温度調整の効率が悪い。



実施後 室内の温度調整が効率的になり、快適性が向上した。



最新高効率設備の導入により、室内の快適性が向上した。

テナントに効果的にPR

実施後 最新の省エネ設備にしたことで、テナント誘致の際のPRになる。



最新の省エネ設備にしたことで、テナント誘致の際のPRになる。

⑨商業ビルへの省エネ設備導入による快適性向上と誘致効果

事業の経緯／今後の予定

2022.9	2023.4	2023.4	2023.12
情報入手	**決議**	**申請**	**完成**
設備が補助対象であることを施工業者経由で入手	社内決議にて補助事業申請を決定	代行事業者にて、補助事業へ申請	2023年10月から工事を開始し、同年12月に工事完了

事業者の声

担当者

- 省エネ性能の高い空調設備に更新することで、エネルギーコストの削減と環境負荷の軽減を実現しました。
- 最新の省エネ空調設備に更新し、快適な室内環境を維持しながら、持続可能な運営を目指します。